

## 8 セーフティーズの施工方法

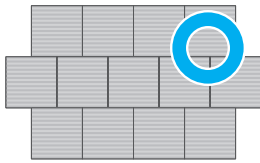
「セーフティーズ」カラーページP.160-161

### 〈施工方法〉

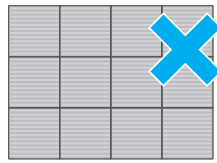
- 1) オス・メスの差し込み方向は施工者の差し込みやすい方向で構いませんが、オス部をメス部に差し込む場合の敷き始めは、オス部(16mm)をカットして使用してください。
- 2) 前後左右のブロックが連結した面構造にするため、破れ目地敷きにて施工を行ってください。破れ目地敷き施工の端部に使用する200×100サイズもご用意しています。

#### ⚠️ 注意事項

- ・半個ずらしながら施工する破れ目地は縦方向、横方向共に段差が出来にくい面構造になります。



破れ目地

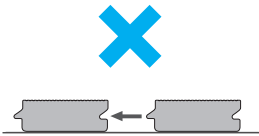


イモ目地

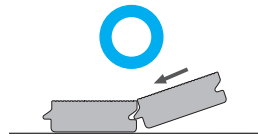
- 3) ブロックを差し込む際は、差し込むブロックを斜め上方向から差し込み下地の砂をブロックの間及びジョイント部に挟まないように施工してください。

#### ⚠️ 注意事項

- ・横方向に砂を引きずりながら差し込むと、ブロックの間及びジョイント部に砂を挟み、目地幅が広がってしまいますので注意してください。



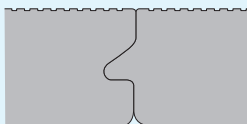
ブロックを横方向から引きずって差し込まないでください。



ブロックは斜め上方向から差し込んでください。

#### ⚠️ 注意事項

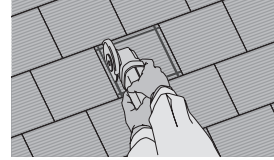
- ・目地幅を広げずに施工してください。隣り合うブロックと段差ができないように注意しながら、側面からゴムハンマー等で叩いて完全に突きつけて施工してください。
- ・ジョイントのない部分についても目地調整を行わず目地幅を広げずに施工してください。また端部の隙間はカット品もしくは、モルタル等を詰め込みブロックの移動を防いでください。
- ・使用するコンパクターは、ブロックの破損を防ぐため、ゴム底タイプまたはゴム製のローラータイプを使用してください。過度の転圧は、ジョイント部分が破損する恐れがありますので、転圧を行う際は軽めに行ってください。



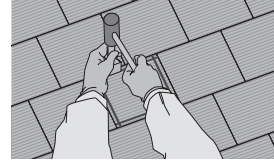
完全に突きつける

### 〈メンテナンス方法について〉

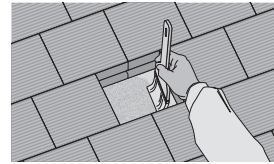
- ① ハンドグラインダー等を使用し破損箇所のブロック面に対して周囲(4辺)に切り込みを深く入れます。



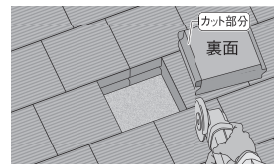
- ② たがね等で切り込みを入れた部分をはつりブロックを取り出します。



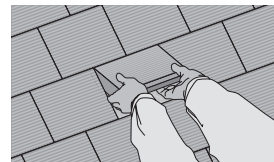
- ③ ブロックを取り出したらサンドクッションを均します。



- ④ 交換用のブロックのメス部下部をカットして取り除きます。



- ⑤ サンドクッションを荒らさないようにオス部から斜めに差し込み敷設します。



- ⑥ 目地砂を掃き入れて完了です。

